

看護の統合と実践

専門分野

授業科目	国際看護	講師	氏名	①橋本香織 ②安部信一	開講年次	3年次 前期	単位・時間	1単位 30時間		
			所属	①病院 ②専任教員						
			実務経験	①臨床看護師 ②専任教員						
科目のねらい	国際看護とは、世界の人々の生活や環境を知り、国際保健に関わる国際機関の役割と機能、社会的・経済的な諸問題に焦点をあて、その多様性を学ぶ。また、グローバルな環境課題や問題が及ぼす人々の健康への影響と国際協力分野における看護実践に必要な概念と国際的視点を養う。									
到達目標										
知識・技術	1. 国際看護の概念・目的が説明できる。 2. 国際看護活動について説明できる。 3. 国際看護における看護師の役割を考慮することができる。									
思考・判断・表現	1. 文化の違いを踏まえた看護を考慮することができる。 2. 国際看護活動を基に、多種多様な視点から国際看護における看護師の役割について自分の意見を述べるることができる。									
主体的学習態度	1. グループディスカッションで自ら積極的に意見交換ができる。 2. 看護学生として知識を活用し、国際看護について探求できる。									
科目評価	単元別試験70%、レポート評価10%、GW評価20% 合計100%									
テキスト	系統看護学講座 災害看護学・国際看護学（医学書院）									
参考文献										
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項			
		講義	演習	その他						
1	国際看護とは	○			橋本香織		国際看護について調べて、講義に臨む。			
2	国際社会における国際看護活動と課題 1) 国際社会 2) 国際協力	○								
3										
4	海外の医療施設と実際	○					事前課題① 海外の医療施設と看護の実際（制度の違い）調べて講義に臨む。			
5	国際看護師と看護ボランティア	○	○	○	文化人類学 医療人類学 看護学へようこそ 災害看護 社会保障 社会福祉 ICTの基礎 多言語コミュニケーション 医療コミュニケーション		①課題レポート 国際看護師と看護ボランティアについて調べ講義に臨む。 ジャイカの方に看護ボランティアについて講義・意見交換（zoomも含む）し、講義後レポート用紙にまとめて提出。			
6										
7	国際看護学に関する基礎知識 1) 世界の健康問題の現状 2) グローバルヘルス 3) 国際協力のしくみ	○								
8										
9										
10	国際看護に関わる看護 1) 開発協力と看護 2) 国際救援と看護	○					安部信一		単元別試験	
11										
12	海外の文化の違いと、対象からみた医療・看護の違い 1) 多様な文化や価値観 2) 文化を考慮した看護	○	○	○					事前課題② 海外の文化の違いについて調べて講義に臨む 宗像地域国際交流連絡協議会などの交流センターでzoomを使用し、「海外の文化について」外国人と意見交換し、文化の違いについて調べGWで活用する。	
13										
14	21世紀の国際協力の課題	○							単元別試験	
15	国際看護学まとめ	○	○						単元別試験 国際看護としての看護観について考える。	
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。									